

ネットワーク接続 SSD  
(BrightSign 対応)  
BSNAS-FS1 取扱説明書

10 版

株式会社 エフスタジオ

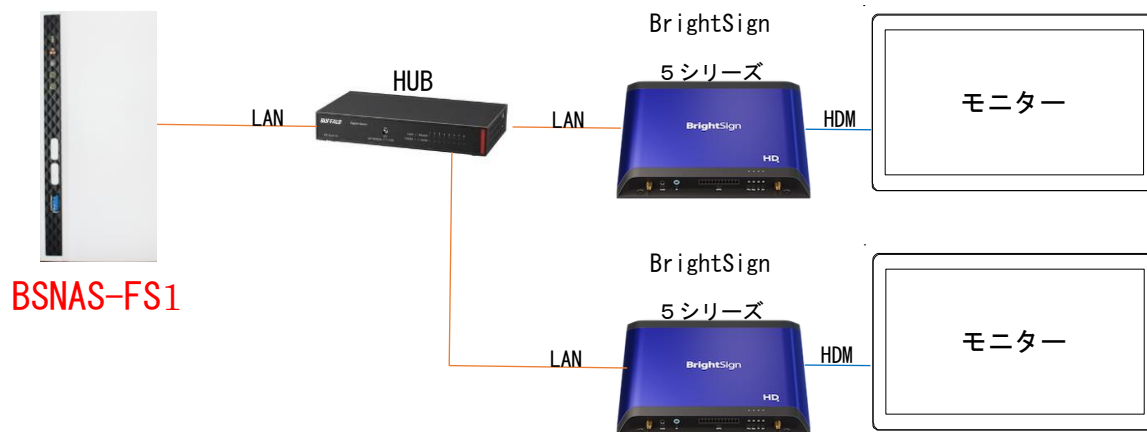
## 目 次

1. 主な機能.....	2
2. BrightAuthor:connected設定方法 .....	3
3. USBメモリー 同期コピー.....	6
4. BrightSignへのUDP 送信ポート変更方法 .....	7
5. IPアドレス設定変更方法.....	7
6. 起動終了時間の設定 .....	9
7. UPSの接続設定.....	10
8. ブレーカーでの電源管理.....	11

## 1. 主な機能

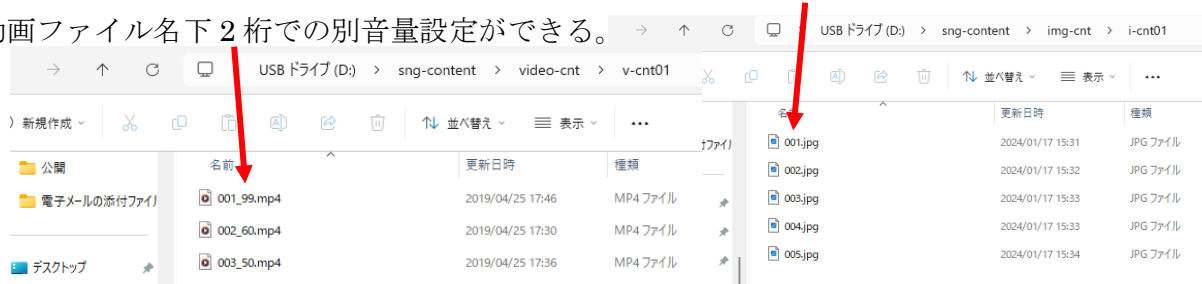
- BrightSign 5 シリーズより NAS 内 HTML コンテンツ経由でフォルダー内の動画静止画を上映する装置 **(インターレース動画は非対応)**

※BrightSign 5 シリーズ以降に対応。



- フォルダー内動画、静止画が複数で指定ファイル名の場合に順番に再生できる。

動画ファイル名下 2 桁での別音量設定ができる。



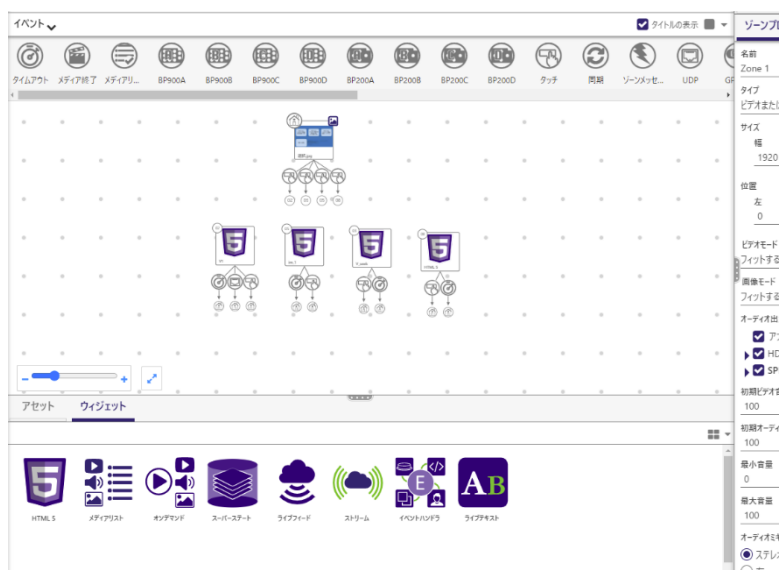
- 動画への簡易シーク機能を可能。



- BSNAS-FS1 の USB メモリー同期コピー機能を使う事で簡単に動画や静止画を更新する事ができる。



## 2. BrightAuthor:connected 設定方法



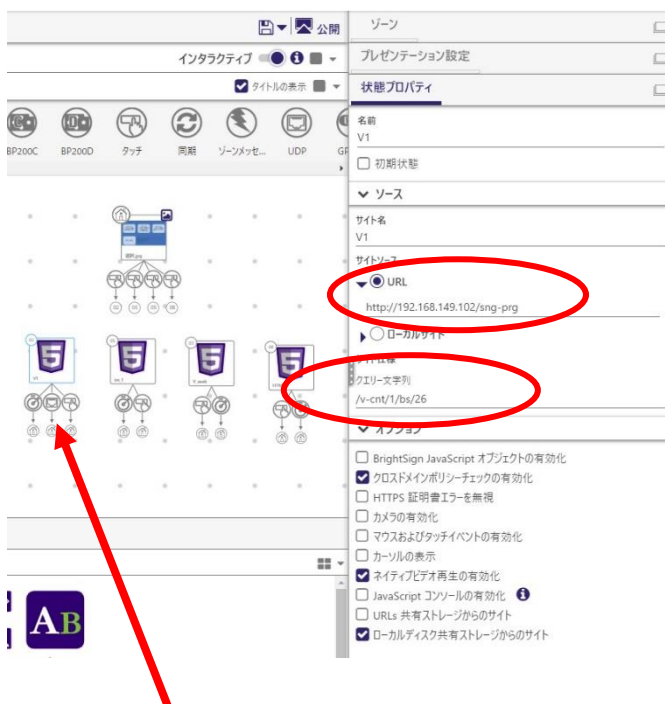
サイトソースへNAS内URL[http://192.168.\*\*\*.\*/sng-prg]を登録(\*\*\*.\*/sng-prg NAS IPアドレス)クエリー文字列(Query String)に機能に合わせて登録

### ■動画の場合

クエリー文字列

[/v-ent/1/bs/26]

記述説明「/動画フォルダー/フォルダー番号/bs/BrightSignIPアドレスホスト部」



全て動画再生終了でNASからBrightSignへUDP[hm]送信し戻る。

UDP[hm]を送らず、フォルダー内繰り返し再背の場合

[/v-ent/1/bs/26/loop]

記述説明「/動画フォルダー/フォルダー番号/bs/BrightSignIPアドレスホスト部/loop」

## ■ 静止画の場合

クエリー文字列

[/i-cnt/1/bs/26]

「静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」 (静止画切り替えは5秒カット切替)

- ・ 静止画拡張機能 1(切り替え時間設定)

[/i-cnt/1/bs/26/dur/7]

「静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部/切替秒数」

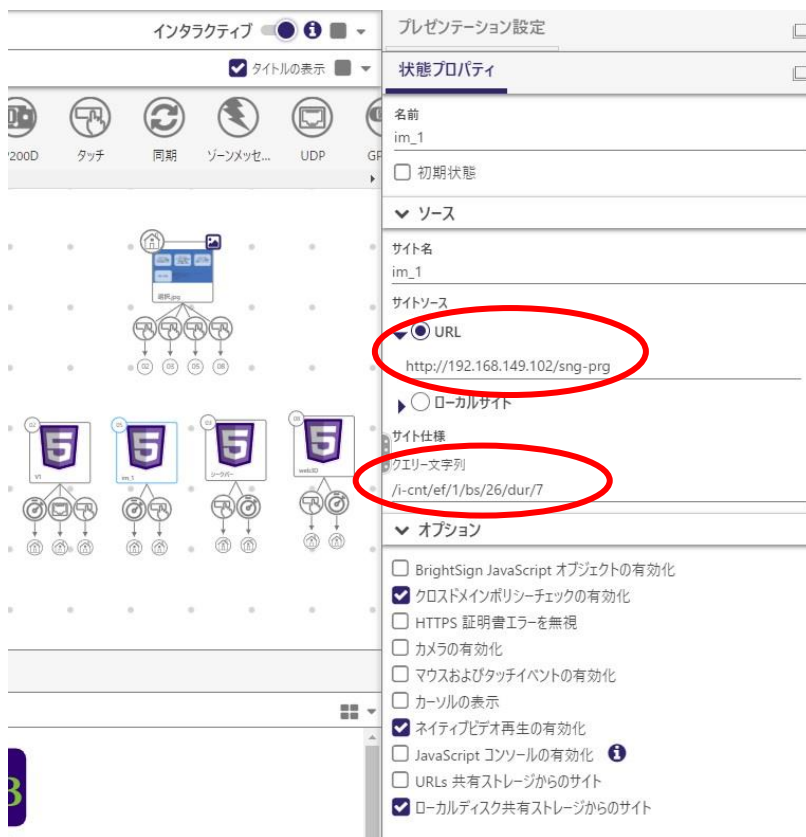
(静止画切り替えは7秒カット切替)

- ・ 静止画拡張機能 2(フェイド切り替え設定)

[/i-cnt/ef/1/bs/26/dur/7]

「静止画フォルダー/フェイド設定/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」

(静止画切り替えは7秒フェイド切替) ※LS はフェイド非対応

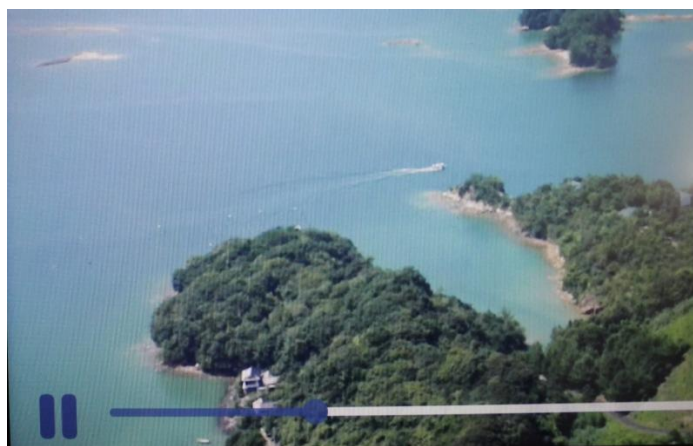
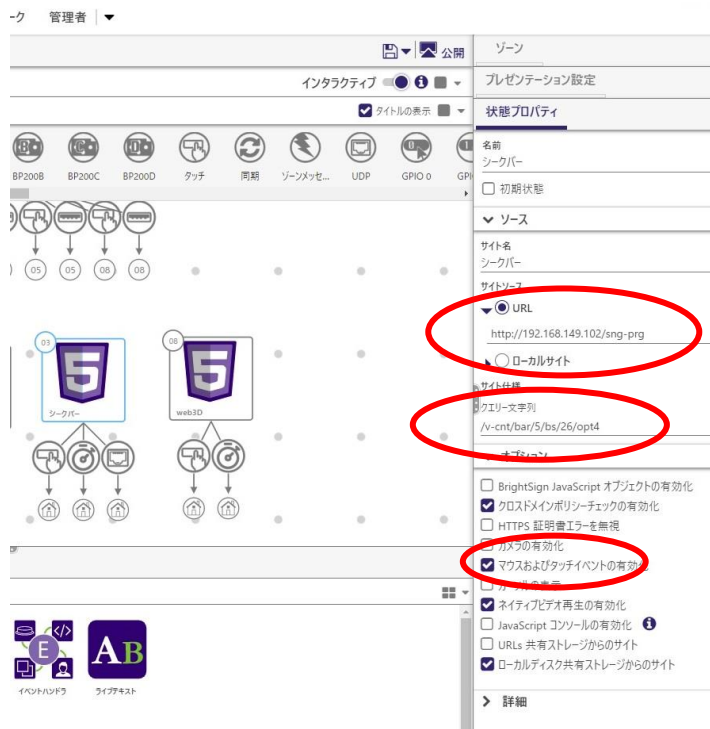


## ■動画簡易シーク機能設定

クエリー文字列

[/v-cnt/bar/1/bs/26/opt4]

「/動画フォルダー/シークバー/フォルダー番号/bs/BrightSignIP アドレスホスト部/シークバーの色」



バーの色

- opt1 青
- opt2 ピンク
- opt3 黒
- opt4 白

※一時停止を行って放置した場合、1分経過後、自動で再生開始します。

### 3. USB メモリー 同期コピー

USB を挿してからインジケータが点滅から点灯に変わり、コピーボタンを押して離すとブザー音が鳴り、同期コピー開始 点滅から点灯でコピー完了

コピーボタンを6から10秒押すとブザーが鳴り、インジケータ点灯が消灯してからUSBを抜いて完了



USB メモリー内のフォルダー構成は

¥sng-content¥img-cnt¥i-cnt01	(静止画フォルダー1)
¥i-cnt02	(静止画フォルダー2)
¥i-cnt03	(静止画フォルダー3)
¥i-cnt04	(静止画フォルダー4)
¥i-cnt99	(静止画フォルダー99)
¥prg-cnt	(プログラムフォルダー変更不可)
¥video-cnt¥v-cnt01	(動画フォルダー1)
¥v-cnt02	(動画フォルダー2)
¥v-cnt03	(動画フォルダー3)
¥v-cnt04	(動画フォルダー4)
¥v-cnt99	(動画フォルダー99)

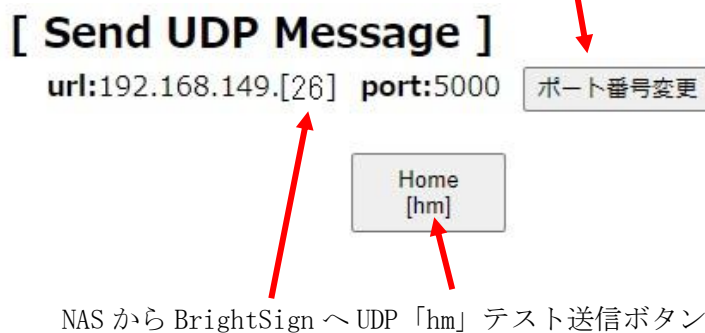
#### 4. BrightSign への UDP 送信ポート変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから表示させると変更できる。(デフォルト 5000)

[http://192.168.\\*\\*\\*.\\*/sng-prg/pnl/26](http://192.168.***.*/sng-prg/pnl/26)

尚、192.168.\*\*\*.\*\*\* NAS IP アドレス

最後の文字は BrightSign IP アドレスホスト部となる。

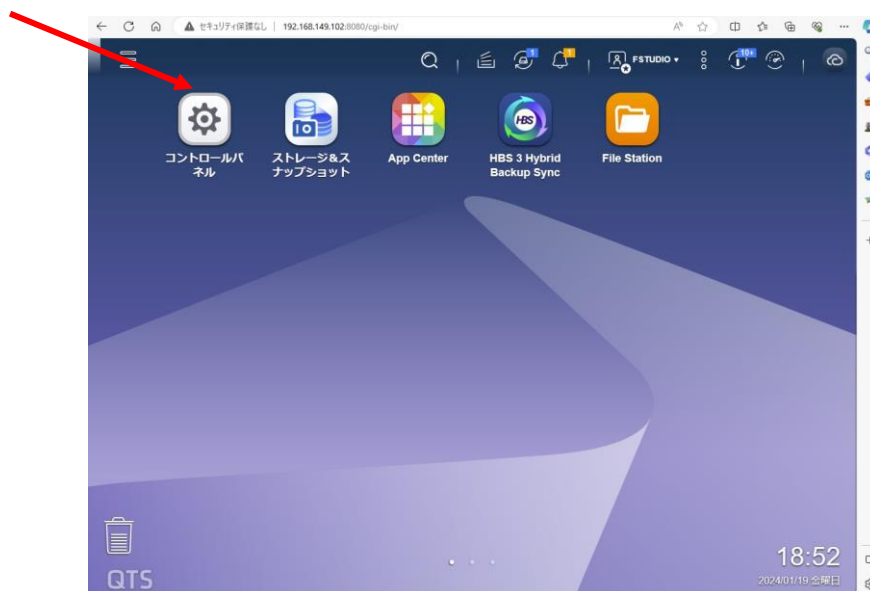


#### 5. IP アドレス設定変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから本体側面の管理者パスワードでログイン

<http://192.18.149.102:8080>

コントロールパネルを開く





コントロールパネルを開き ネットワーク・・・>>設定で変更できる。

The screenshot shows the Control Panel interface. The 'Network and File Sharing' section is expanded to 'Network'. Under 'Interfaces', 'Wi-Fi' is selected, showing 'Adapter 1 (自動)' as the system's default gateway. The 'Adapter List' shows 'Adapter 1 (1GbE)' with status '接続済み' (Connected) and IP address '192.168.149.102'. A red arrow points from the 'Adapter 1 (自動)' label to the '設定' (Settings) option in the gateway dropdown menu.

The '設定' (Settings) dialog for 'IPv4' is open, showing the following configuration:

- DHCP 経由で IP アドレス設定を自動取得する
- 静的 IP アドレスを使用する
- 固定 IP アドレス: 192.168.149.102
- サブネットマスク: 255.255.255.0 (/24)
- 既定のゲートウェイ: 192.168.149.1
- ジャンボフレーム: 1500
- ネットワーク速度: 自動交渉

Buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) are visible at the bottom of the dialog.

## 6. 起動終了時間の設定

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源>>電源スケジュールを開き設定できる。

**ControlPanel**

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cort  
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

**システム**  
タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

**権限設定**  
ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

**電源**

電源スケジュール

電源スケジュール

EuP モードの設定 Wake-on-LAN (WOL) 電力復旧 **電源スケジュール**

スケジュールを有効にする  
 レプリケーションジョブの進行中にスケジュールされた再起動/シャットダウンを延期する

追加 削除

電源操作	スケジュール	開始時間	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/> シャットダウン	毎日	19:00	有効	
<input type="checkbox"/> サーバーの電源をオンに...	毎日	08:30	有効	

適用

## 7. UPS の接続設定

Omron と USB ケーブルで接続し UPS の電源を入れる。

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 外部デバイス>>UPS の設定画面。

ControlPanel

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cortex-A55 Processor @ 2.0 GHz  
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム  
タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

権限設定  
ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

ネットワークとファイルサー...  
ネットワーク接続の管理、共有ファイルに対する QuFTP Service の設定、ごみ箱の保持ルールの設定、Microsoft と Apple ネットワーキングに対する UPS の USB 接続のインストールの更新が可能な...

外部デバイス

UPS USB

USB 接続  SNMP 接続

停電した場合、サーバーをオフにする

分間:

停電した場合、システムは\*\*自動保護\*\*モードに移行する

分間:

\*自動保護: NAS は実行中のサービスをすべて停止し、ボリュームのマウントをすべて解除し、再起動し、以前の状態に戻ります。

ネットワークUPSサポートを有効にする

電源異常の場合、次のIPアドレスの通知を許可する

追加	削除
<input type="checkbox"/>	IPアドレス

適用

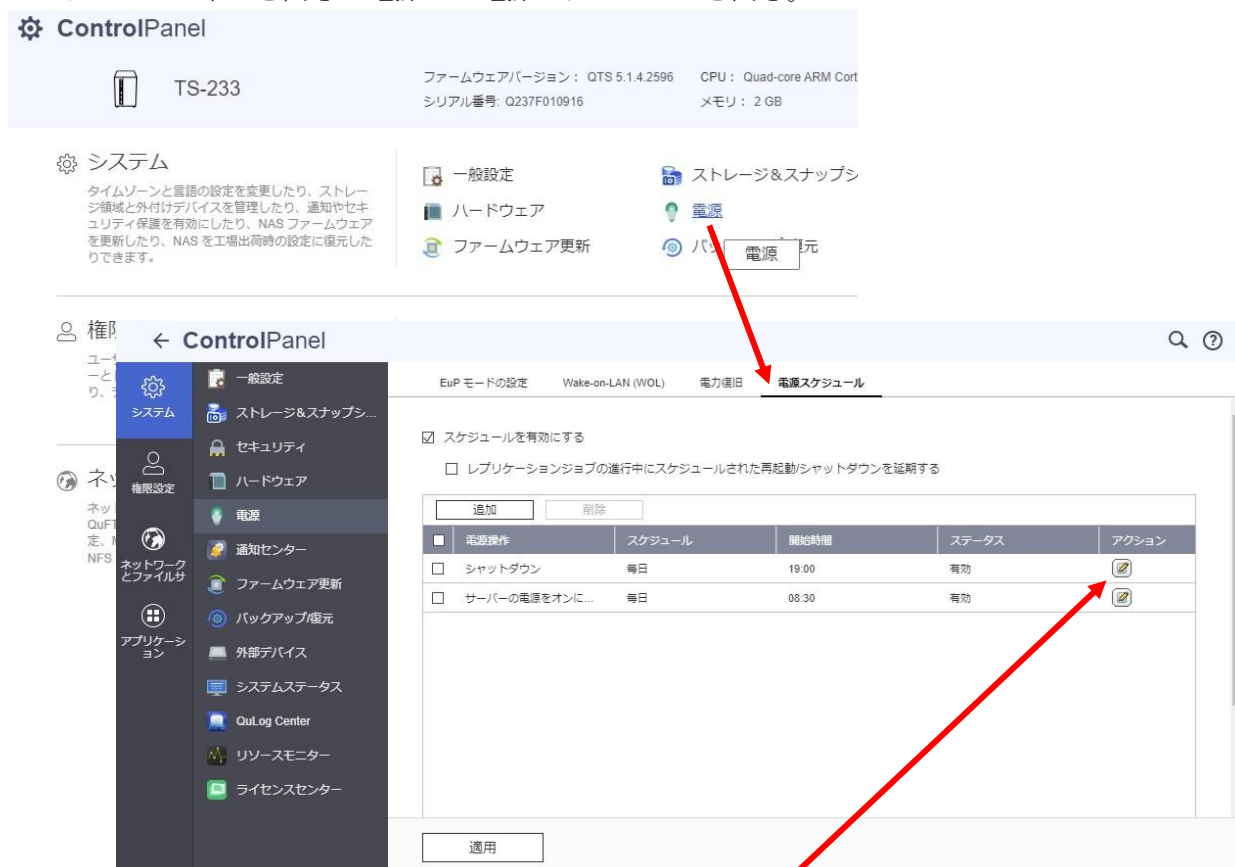
停電した場合のサーバーをオフにするを 1 分に設定

## 8. ブレーカーでの電源管理

Omron BY50S と USB 接続を確認

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源>>電源スケジュールを開き。



ControlPanel

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cort  
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム

一般設定

ハードウェア

ファームウェア更新

ストレージ&スナップシ

電源

電源スケジュール

スケジュールを有効にする

レプリケーションジョブの進行中にスケジューされた再起動シャットダウンを延期する

電源操作	スケジュール	開始時間	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/> シャットダウン	毎日	19:00	有効	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> サーバーの電源をオンに...	毎日	08:30	有効	<input type="checkbox"/>

適用

アクションを開きサーバーの電源 ON 時間をブレーカー起動予定前の時間に設定  
シャットダウン時間の設定を、ブレーカーを切る時間以降に設定

オムロンサイトより UPS ユーティリティをダウンロード、セットアップを行い  
BY50S と設定用パソコンと USB ケーブルで接続



OMRON 無停電電源装置 | Japan

社会システムTOP | サイトマップ

UPSホーム | 製品情報 | サポート/サービス | 製品選定 | ご要者登録 | イン

ホーム > 無停電電源装置 (UPS) > 製品情報 > 電源管理ソリューション > UPS設定ユーティリティ

### UPS設定ユーティリティ

**主な特長**

UPS設定ユーティリティは、UPSの各種設定を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、UPSの設定を簡単に行うことができます。

例：停電時、シャットダウンソフトを使用せずにUPSを停止させる。  
→「最大バックアップ時間設定」をする。

また、UPSの設定内容をファイルにバックアップしたり、他のUPSに設定内容を転送したりすることもできます。

設定可能項目 (UPSの機種により異なります)	ユーティリティ機能
(1) ブザー完全停止	(1) コマンドを送受信する機能
(2) 出力電圧設定	(2) 設定をバックアップファイルに保存する機能
(3) 電圧感度モード設定	(3) バックアップファイルから設定を戻す機能
(4) コールドスタート設定	(4) UPSの設定内容を読み出す機能
(5) 最大バックアップ時間設定	(5) UPSの設定をデフォルト値に戻す機能
(6) 自己診断テスト自動実行	

設定用パソコンのダウンロードを行った下記 UPSSettingTool を起動



UPS と接続し、基本設定の最大バックアップ時間を 5 分に設定。

UPS と BSNAS-FS1 間を USB ケーブルで再度接続。

停電後（UPS 供給電源を切る）、約 2 分半で BSNAS-FS1 の電源が切れ、5 分で UPS の電源が切れる事を確認。

※停電や臨時の運用の場合に、BSNAS-FS1 が起動しない場合が有るので  
手動での起動を行う、長時間経過した翌日の起動は問題無い。